令和元年度　碧南市地域福祉計画推進委員会
次　　第

日時　令和２年２月２０日（木）
　　午前１０時から午前１１時３０分まで
場所　へきなん福祉センター１階会議室１・２

１　あいさつ

２　議題

(1) 第２次碧南市地域福祉計画の進捗状況について

ア　第２次碧南市地域福祉計画の概要

イ　市民の意識調査結果

ウ　行政の取り組み

エ　社会福祉協議会の取り組み

(2) 地域福祉推進会議について

３　その他

碧南市地域福祉計画推進委員会名簿

No.	団　体　名	役職名	委員氏名
1	碧南市民生委員児童委員協議会	委員長	河原　厚司
新2	碧南市社会福祉協議会	職務代理	杉浦　邦俊
新3	碧南市連絡委員		板倉　幸雄
4	碧南市老人クラブ連合会		禰宜田　知司
新5	碧南市主任児童委員		古井　露子
6	碧南市身体障害者福祉協会		鈴木　たか子
7	碧南市手をつなぐ育成会		牧野　昭彦
8	社会福祉法人樫の木乳幼児福祉会		對馬　幸司
新9	碧南市健康推進員		大島　直美
新10	碧南市おやじの会連絡会		生田　藤禎
11	碧南市ボランティア連絡協議会		永坂　幸子
12	碧南保護区保護司会　碧南支部		鳥居　寛英
新13	碧南市小中学校校長会代表		小島　真由子

アドバイザー

14	日本福祉大学社会福祉学部　教授	野尻　紀恵

事務局

15	社会福祉協議会地域福祉課長兼地域福祉係長	鈴木　利男
16	社会福祉協議会地域福祉課地域福祉担当係長	野中　和彦
17	碧南市高齢介護課長	山田　昌宏
18	碧南市福祉こども部長	遠山　隆夫
19	碧南市福祉課長	杉浦　浩二
20	碧南市福祉課社会福祉係　係長	河原　睦
21	碧南市福祉課社会福祉係　主事	澤田　直也
22	碧南市福祉課社会福祉係　主事	杉浦　久美子

資料

第１章　計画の概要

１．地域福祉とは

「福祉」というと、高齢者福祉や障害者福祉、児童福祉といった対象者ごとに分かれているものを思い浮かべることが一般的でした。これら分野別の福祉は、行政がその対象者ごとに必要な福祉サービスを提供するもので、「特定の人のため」という意味合いが強いものでした。しかし、福祉サービスのような支援を必要としているのは分野で分けられた特定の人だけではありません。地域に暮らす誰もが日頃の生活の中で何等かの問題を抱え、簡単な手助けを必要としています。

誰もが地域で安心して暮らしていくためには、行政が提供する福祉サービスだけでは不十分であり、日頃の身近な生活の問題には、地域の住民同士によるちょっとした手助けで解決できることもたくさんあります。

そこで、地域福祉の概念は、次のような視点での取り組みに分けられています。

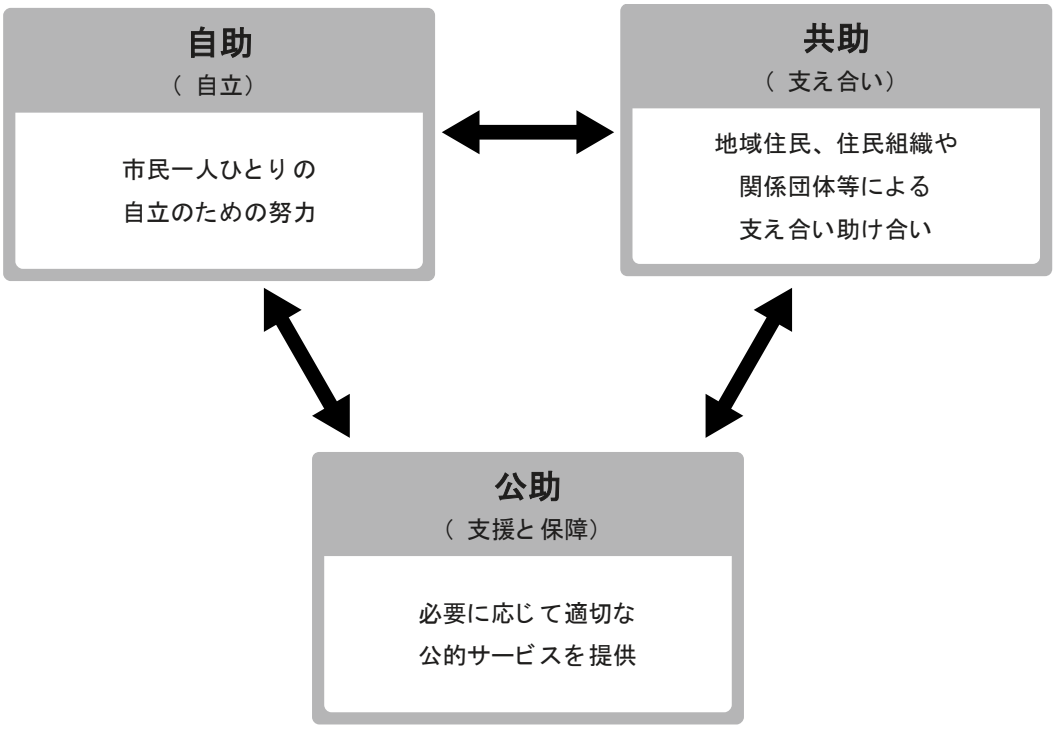
■自助：日頃身の回りで起こる問題は、まず個人や家族の努力で解決

■共助：個人や家族内で解決できない問題は、隣近所の力やボランティア、NPO 等の活動で解決

■公助：地域で解決できない問題は、行政で解決

といった重層的な取り組みによって支援されています。すなわち、市民相互の助け合い・支え合いの力があり、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、市民が主体的に行う取り組み」、「地域における助け合いの仕組み」が『地域福祉』と言えます。

【地域福祉の概念】



第１章　基本理念・基本目標

１．基本理念

第２次地域福祉計画の基本的な考え方である「共に生き、相互に支え合うことができる地域」の構築及び「地域の出来事を　まず自分事として考える。」ことに取り組みながら、生活圏域を基礎に高齢者、障害者、子ども等地域を構成している市民一人ひとり、住民組織、様々な関係団体、社会福祉協議会及び市において「自助（自立）」、「共助（支え合い）」、「公助（支援と保障）」を継続して進めていくこととします。

そこで、次のとおり設定しました。

― 基本理念 ―

地域で築く　つながり　支えあうまち　へきなん

２．基本目標

基本理念の実現及び５つの課題解決には、環境づくり、人づくり、場づくり等といった施策が必要であるため、次のとおり５つの基本目標を設定しました。

基本目標１　福祉の意識を高める環境づくり

「人は支え合いながら生きている」、この誰もが一度は耳にする言葉、人間社会はまさにこの言葉によって支えられています。もちろん地域福祉においても、この支え合い・助け合いの意識は、地域社会を形成するにあたって核となるものです。しかし高度化していく現代社会においては、やや実感しにくくなっているのも事実です。そこで、子どもや大人に限らず、すべての住民が様々な機会を通じて、これらのことを再認識できるよう、また、地域福祉への関心と意識が高まるよう環境づくりを進めます。

基本目標２　世代間や地域での交流の機会づくり

地域福祉は「自助・共助・公助」という補完の原則を基本としています。これは、自分でできることは努力（自助）し、できない場合は隣近所や町内会等地域の協力（共助）で、地域で解決できないことは行政（公助）で、それぞれの役割を担いながら、地域の福祉課題に対して、解決を進めていく考え方です。つまり隣近所や町内会等、最も身近な住民同士のつながりは、地域福祉の原点となるものです。そこで、身近な地域で様々な交流の場や住民同士が顔を合わせられる機会を身近な地域で設け、交流の機会をつくっていきます。

基本目標３　地域福祉活動を支える人づくり

地域福祉を推進するにあたっては、福祉活動や支援を行う人の力が最も重要なものとなります。地域では、町内会やボランティアグループ等が中心となって、福祉活動が展開されています。これらの活動団体及び市、社会福祉協議会が協働し、人材の育成・発掘を進めるとともに、今日的な福祉ニーズや課題に応じた活動団体の育成・組織化等、地域福祉活動の人づくりを進めます。

基本目標４　多様化する福祉課題に対応する支援体制づくり

地域には、子育てに悩んでいる人、一人暮らしで不安を抱えている高齢者、障害者、支援を必要としているがサービスが行き届いていない人、虐待を受けている人等、個人では解決することが難しい福祉課題が様々にあります。これらの福祉課題については、地域住民を始め、町内会や民生委員等の各種団体や機関等と協働して解決していくことが必要です。さらには、地域福祉の推進機関である社会福祉協議会の充実や住民参加型による福祉サービス・支援活動を促進する体制づくりを進めます。

基本目標５　安心・安全を高める地域づくり

災害を始め、日常生活での安心・安全が大きな関心となっている今日、地域住民の安心・安全を守るために、地域で何ができるのかということが問われています。そのためには、何か起きれば気づけるような顔の見える関係づくりが重要であり、隣近所にどのような人が住んでいるか把握することが必要です。もちろん、このような地域は防犯力も高くなります。地域の安心と安全はそこに暮らす自分たちで守っていくという意識のもと、住民による主体的な防災・防犯活動を中心としながら、関係機関や団体等の連携・協力体制を強化していくことで、より安心・安全を高めることができる地域づくりを進めます。

３．施策の体系

基本理念	基本目標	基本方針	
地域で築く　つながり　支えあうまち　へきなん	1 福祉の意識を高める環境づくり	1-1	地域における支え合い意識の向上
		1-2	福祉について学ぶ機会の創出
		1-3	地域組織活動の推進
	2 世代間や地域での交流の機会づくり	2-1	地域での交流の機会づくり
	3 地域福祉活動を支える人づくり	3-1	地域福祉を担う人材等の育成
	4 多様化する福祉課題に対応する支援体制づくり	4-1	情報提供及び支援ネットワークの充実
		4-2	安心して子どもを生み育てられる環境づくり
		4-3	高齢者・障害者・生活困窮者の自立支援
	5 安心・安全を高める地域づくり	5-1	家庭・近所・地域での防災対策の充実
		5-2	地域の見守り・防犯活動の推進
		5-3	権利擁護の充実

第３章　計画の推進

１．計画の推進

１）計画の推進体制

地域福祉の推進は、市民を始めとして地域団体、ボランティア・市民活動団体等、社会福祉協議会、市がそれぞれの役割を果たし、互いに協力・支援しながら、地域の福祉力向上に取り組んでいかなければなりません。

しかし、地域の生活課題は、複雑・多様化しており、地域だけでは解決できない課題も多く、これらを解決するためには、重層的な地域内での支援とともに、専門的な支援による対応が欠かせません。

今回、地域福祉計画と地域福祉活動計画とを一体的に策定したことを契機として、市と社会福祉協議会は強い連携のもと、実効性を確保しつつ計画を進めます。

２）計画の普及啓発

本計画の普及・啓発に向けては、計画書や概要版を関係機関へ配布するとともに、市と社会福祉協議会の広報誌やホームページ等を通じて周知します。

３）計画の進捗管理・評価

本計画の実効性を高めるため、ＰＤＣＡ（計画（Ｐｌａｎ）、実行（Ｄｏ）、評価（Ｃｈｅｃｋ）、改善（Ａｃｔ））サイクルにより、市関係各課等や社会福祉協議会において、毎年それぞれの進捗状況を取りまとめると同時に、各地域で地域福祉懇談会の推進を図り、市民からの意見集約に努めます。次に「地域福祉計画推進委員会」において、それらを総合的に評価し、計画を進めます。

問16－1　問16で「イ」と答えた方にお聞きします。

健康診査を受けていない理由は何ですか。あてはまるものを１つ選んでください。

ア　既に医者に通院している	イ　健康診査に行く時間がない
ウ　受ける必要がないと思っている	エ　結果が怖い
オ　受けるのが面倒	カ　そのほか（具体的に）

問17　あなたは今後、脳卒中の後遺症などで、医療・介護が必要となったとき、主にどこで生活したいとお考えですか。

ア　自宅	イ　病院	ウ　介護施設など	エ　わからない

問18　現在、あるいは過去に参加したことがある地域・市民活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

ア　町内会・自治会活動	イ　防災・防犯活動
ウ　ＰＴＡ・子ども会など青少年健全育成活動	エ　男性会・女性会など地域団体活動
オ　ＮＰＯやボランティア団体活動	カ　老人クラブ・高齢者団体活動
キ　教養・趣味・スポーツ活動　ク　なし	ケ　そのほか（具体的に）

Ⅵ　地域福祉（地域の出来事を自分事として考え、困った時に助け合うこと）

問19　地域福祉（地域の出来事を自分事として考え、困った時に助け合うこと）の推進について、重要と思うものを１つ選んでください。

ア　福祉の意識を高める	イ　世代間や地域で交流の機会をつくる
ウ　地域福祉活動を支える人材育成	エ　多様化する福祉課題に対応する支援体制
オ　安心・安全を高める地域づくり	

問20　ボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるものを１つ選んでください。

ア　積極的に参加している	イ　機会があれば参加している
ウ　過去に参加したことがある	エ　参加したことはない

問21　今後、どのようなボランティア活動に参加したいですか。あてはまるものを３つまで選んでください。

ア　高齢者支援	イ　障害者支援	ウ　子育て支援
エ　教育・児童健全育成	オ　災害復興	カ　自然保護
キ　防犯・防災活動	ク　まちの美化・清掃	ケ　募金活動
コ　調査・研究活動	サ　お祭り、イベントの手伝い	シ　特にない
ス　そのほか（具体的に）		

問18 現在、あるいは過去に参加したことがある地域・市民活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	回答者数（人）	（ア）町内会・自治会活動	（イ）防災・防犯活動	（ウ）PTA・子ども会など青少年健全育成活動	（エ）男性会・女性会など地域団体活動	（オ）NPOやボランティア団体活動	（カ）老人クラブ・高齢者団体活動	（キ）教養・趣味・スポーツ活動	（ク）なし	（ケ）そのほか	無回答
総数	691	56.4	22.4	35.7	7.5	8.2	6.8	27.9	21.0	1.2	0.0
平成30年の結果	829	43.2	13.4	29.1	3.1	6.0	5.2	20.0	1.7	33.9	2.9
平成29年の結果	804	43.4	13.8	28.6	3.9	5.7	5.5	16.8	1.0	33.2	3.7
29歳以下	95	23.2	14.7	24.2	1.1	6.3	1.1	24.2	38.9	1.1	0.0
30歳代	104	37.5	9.6	15.4	1.9	3.8	1.0	14.4	44.2	1.9	0.0
40歳代	112	53.6	16.1	54.5	8.9	7.1	0.9	31.3	20.5	1.8	0.0
50歳代	129	69.8	18.6	62.0	9.3	3.9	2.3	24.8	8.5	0.8	0.0
60歳代	126	75.4	34.1	34.9	11.1	14.3	7.9	37.3	14.3	0.8	0.0
70歳以上	124	67.7	37.1	18.5	10.5	12.9	25.0	33.1	8.1	0.8	0.0
自営	61	65.6	21.3	32.8	13.1	8.2	3.3	24.6	14.8	1.6	0.0
おつとめ	341	51.9	18.5	39.9	6.7	5.6	3.5	23.8	25.5	1.5	0.0
主婦	129	57.4	18.6	42.6	9.3	13.2	6.2	37.2	23.3	0.0	0.0
学生	25	36.0	24.0	40.0	0.0	16.0	4.0	48.0	8.0	4.0	0.0
無職その他	133	66.9	36.8	18.8	6.0	9.0	18.0	27.1	12.8	0.8	0.0
新川	176	55.7	21.0	40.9	9.1	9.7	8.0	30.7	18.8	1.1	0.0
中央	120	57.5	19.2	34.2	6.7	10.0	5.0	23.3	18.3	0.0	0.0
大浜	105	53.3	21.9	28.6	6.7	8.6	9.5	26.7	24.8	2.9	0.0
棚尾	63	50.8	17.5	22.2	3.2	4.8	3.2	30.2	31.7	1.6	0.0
旭	135	65.9	29.6	35.6	7.4	4.4	7.4	26.7	13.3	0.0	0.0
西端	89	51.7	23.6	47.2	10.1	11.2	5.6	31.5	27.0	1.1	0.0
10年未満	93	30.1	10.8	14.0	1.1	4.3	2.2	17.2	52.7	1.1	0.0
10年～20年	85	49.4	14.1	38.8	3.5	5.9	1.2	27.1	25.9	2.4	0.0
20年～30年	107	41.1	19.6	44.9	6.5	4.7	0.0	24.3	24.3	1.9	0.0
30年以上	404	68.3	27.7	37.9	10.1	10.6	10.9	31.7	11.9	0.7	0.0

Ⅵ 地域福祉（地域の出来事を自分事として考え、困った時に助け合うこと）

問19 地域福祉（地域の出来事を自分事として考え、困った時に助け合うこと）の推進について、重要と思うものを１つ選んでください。

	回答者数（人）	（ア）福祉の意識を高める	（イ）世代間や地域で交流の機会をつくる	（ウ）地域福祉活動を支える人材育成	（エ）多様化する福祉課題に対応する支援体制	（オ）安心・安全を高める地域づくり	無回答
総　数	691	13.9	21.0	15.8	21.0	26.6	1.7
平成30年の結果	—	—	—	—	—	—	—
平成29年の結果	—	—	—	—	—	—	—
29 歳 以 下	95	20.0	16.8	16.8	23.2	23.2	0.0
30 歳 代	104	8.7	26.0	12.5	24.0	26.0	2.9
40 歳 代	112	10.7	19.6	16.1	25.0	26.8	1.8
50 歳 代	129	12.4	18.6	14.7	24.8	28.7	0.8
60 歳 代	126	11.9	24.6	15.1	21.4	26.2	0.8
70 歳 以 上	124	20.2	20.2	19.4	8.9	28.2	3.2
自　営	61	19.7	19.7	8.2	18.0	34.4	0.0
おつとめ	341	11.1	21.1	15.0	23.5	28.7	0.6
主　婦	129	15.5	22.5	15.5	19.4	25.6	1.6
学　生	25	12.0	20.0	24.0	28.0	8.0	8.0
無職その他	133	17.3	20.3	20.3	16.5	21.8	3.8
新　川	176	14.2	26.1	15.3	19.3	24.4	0.6
中　央	120	15.0	24.2	17.5	21.7	20.8	0.8
大　浜	105	12.4	23.8	11.4	20.0	30.5	1.9
棚　尾	63	11.1	17.5	15.9	23.8	30.2	1.6
旭	135	18.5	17.0	14.1	17.0	28.9	4.4
西　端	89	7.9	11.2	22.5	29.2	29.2	0.0
10 年 未 満	93	14.0	25.8	16.1	21.5	21.5	1.1
10 年 ～ 20 年	85	14.1	18.8	10.6	32.9	22.4	1.2
20 年 ～ 30 年	107	14.0	20.6	18.7	19.6	26.2	0.9
30 年 以 上	404	13.9	20.3	16.1	18.8	29.0	2.0

問20 ボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるものを１つ選んでください。

	回答者数（人）	（ア）積極的に参加している	（イ）機会があれば参加している	（ウ）過去に参加したことがある	（エ）参加したことはない	無回答
総数	691	4.3	12.6	32.1	50.2	0.7
平成30年の結果	829	2.5	8.9	28.8	56.6	3.1
平成29年の結果	804	3.2	7.2	28.4	57.7	3.5
29歳以下	95	2.1	10.5	48.4	38.9	0.0
30歳代	104	1.0	11.5	36.5	50.0	1.0
40歳代	112	0.9	8.9	35.7	53.6	0.9
50歳代	129	2.3	14.0	29.5	53.5	0.8
60歳代	126	7.1	14.3	19.0	59.5	0.0
70歳以上	124	11.3	15.3	29.0	43.5	0.8
自営	61	3.3	14.8	32.8	49.2	0.0
おつとめ	341	3.2	12.9	32.0	51.6	0.3
主婦	129	5.4	7.8	35.7	50.4	0.8
学生	25	4.0	16.0	52.0	28.0	0.0
無職その他	133	6.8	15.0	24.8	51.9	1.5
新川	176	5.7	11.9	31.3	50.0	1.1
中央	120	5.0	14.2	34.2	46.7	0.0
大浜	105	4.8	15.2	30.5	49.5	0.0
棚尾	63	1.6	11.1	23.8	63.5	0.0
旭	135	3.7	11.9	32.6	50.4	1.5
西端	89	3.4	10.1	38.2	48.3	0.0
10年未満	93	1.1	8.6	41.9	47.3	1.1
10年～20年	85	2.4	16.5	35.3	45.9	0.0
20年～30年	107	2.8	8.4	40.2	48.6	0.0
30年以上	404	5.9	13.9	27.2	52.5	0.5

問21 今後、どのようなボランティア活動に参加したいですか。あてはまるものを３つまで選んでください。

	回答者数（人）	（ア）高齢者支援	（イ）障害者支援	（ウ）子育て支援	（エ）教育・児童健全育成	（オ）災害復興	（カ）自然保護	（キ）防犯・防災活動	（ク）まちの美化・清掃	（ケ）募金活動	（コ）調査・研究活動	（サ）お祭り、イベントの手伝い	（シ）特にない	（ス）そのほか	無回答
総数	691	16.6	10.7	22.7	12.4	16.1	16.2	15.3	23.2	7.1	4.6	22.9	25.8	1.4	0.0
平成30年の結果	829	9.8	5.7	11.9	7.1	7.8	15.7	8.2	17.5	2.1	5.2	20.3	40.4	2.1	5.2
平成29年の結果	804	9.5	6.6	14.4	5.7	8.0	13.3	9.5	15.4	2.0	5.0	16.8	41.3	2.0	4.6
29歳以下	95	12.6	6.3	24.2	14.7	17.9	8.4	9.5	16.8	5.3	6.3	31.6	29.5	0.0	0.0
30歳代	104	13.5	11.5	35.6	15.4	14.4	18.3	12.5	23.1	4.8	2.9	34.6	18.3	1.0	0.0
40歳代	112	17.0	16.1	29.5	15.2	17.9	16.1	18.8	15.2	8.9	3.6	18.8	18.8	0.0	0.0
50歳代	129	17.8	8.5	22.5	9.3	16.3	24.0	13.2	27.1	8.5	7.8	17.8	25.6	1.6	0.0
60歳代	126	14.3	11.1	17.5	14.3	16.7	15.9	17.5	23.0	4.8	4.0	19.0	32.5	2.4	0.0
70歳以上	124	23.4	10.5	10.5	7.3	13.7	12.9	19.4	31.5	9.7	3.2	19.4	29.0	3.2	0.0
自営	61	9.8	8.2	18.0	8.2	8.2	21.3	11.5	18.0	6.6	1.6	32.8	26.2	0.0	0.0
おつとめ	341	16.1	10.9	26.1	13.5	21.4	17.3	16.7	24.6	6.2	5.0	25.5	20.5	1.5	0.0
主婦	129	20.9	11.6	32.6	15.5	7.8	17.1	9.3	21.7	8.5	3.9	14.7	32.6	0.0	0.0
学生	25	8.0	12.0	12.0	12.0	20.0	0.0	8.0	20.0	8.0	8.0	48.0	16.0	0.0	0.0
無職その他	133	18.8	10.5	9.0	9.0	13.5	13.5	21.1	24.1	8.3	4.5	15.0	34.6	3.8	0.0
新川	176	19.9	13.6	21.0	13.1	19.3	15.9	15.3	25.6	7.4	6.8	27.3	21.6	2.3	0.0
中央	120	15.8	8.3	20.8	13.3	15.8	13.3	15.8	20.0	11.7	2.5	28.3	25.8	0.0	0.0
大浜	105	14.3	8.6	22.9	15.2	20.0	15.2	20.0	18.1	9.5	9.5	18.1	21.9	2.9	0.0
棚尾	63	14.3	7.9	28.6	14.3	7.9	15.9	7.9	17.5	1.6	3.2	15.9	36.5	0.0	0.0
旭	135	16.3	11.1	23.7	9.6	16.3	14.8	14.8	30.4	5.2	0.0	23.7	25.2	0.7	0.0
西端	89	15.7	12.4	23.6	10.1	11.2	24.7	15.7	22.5	4.5	5.6	15.7	31.5	1.1	0.0
10年未満	93	18.3	7.5	38.7	15.1	12.9	15.1	9.7	16.1	6.5	1.1	32.3	21.5	2.2	0.0
10年～20年	85	14.1	14.1	28.2	14.1	14.1	12.9	12.9	20.0	8.2	5.9	29.4	18.8	0.0	0.0
20年～30年	107	6.5	6.5	22.4	12.1	19.6	19.6	15.0	21.5	8.4	6.5	15.9	28.0	1.9	0.0
30年以上	404	19.6	11.9	18.1	11.6	16.3	16.3	17.3	26.0	6.7	4.7	21.3	27.7	1.5	0.0

基本目標１　福祉の意識を高める環境づくり

基本方針１－１　地域における支え合い意識の向上

施策１　地域福祉に関する市民意識の向上

内容１：高齢者や障害者、子育て家庭等に関する理解を深める講座を支援します。

内容２：地域活動やボランティアに関する講座を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	福祉課	○	市内を６地区に分け、「地域の出来事を自分事に」をスローガンに「地域福祉推進会議（地域住民が話し合う場）」を開催し、継続的に話し合いを重ねている。
	こども課	○	各保育園において、地域の乳幼児を持つ母親や園児の保護者を対象に子育てに関わる講座を開催した。
	地域包括支援センター	○	出前講座に介護予防に関する講座、認知症に関する講座を開催した。 ※高齢者ほっとプラン（基本施策２－２（１）、（２）） （基本施策２－２（１）、（２））
2	地域協働課	○	地域活動に関するスキルを学ぶ「まちづくりの担い手育成講座」を８回連続講座として実施したほか、碧南市市民活動センターで地域活動・ボランティア活動に役立つ各種講座を開催した。

表中評価欄の○は「良好な取り組み状況である。」、△は「取り組みは実施しているが、課題がある。」、×は「取り組みは未実施である。」

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	福祉課	継続実施し、市民の理解を深める。
	こども課	保護者に向けて、安心して子育てができるよう育児・子どもの発達発育に関する状況発信や相談を行う。
	地域包括支援センター	出前講座に介護予防に関する講座、認知症に関する講座を通じて普及に努める。
2	地域協働課	引き続き地域活動・ボランティア活動に役立つ講座を行う。

施策２　声掛け運動の推進

内容１：市民が自主的に行うあいさつ運動を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	生涯学習課	○	各地区の「愛のパトロール」等で防犯活動とともに声掛け運動を実施した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	生涯学習課	パトロール活動とともに行う声掛け運動を継続して、市民が自主的に行うあいさつ運動につなげていく。

基本方針１－２　福祉について学ぶ機会の創出

施策１　地域と学校の連携強化

内容１：地域住民や保護者等が参加できるような学校公開日等の行事を開催します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	学校教育課	○	花苗を保育園公民館、保護者や地域の方々に配布した。また、地域の方による「見守り隊」及び「スクールガード」の実施、地域の方を道徳授業の講師として招く活動を実施した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	学校教育課	引き続き、地域住民や保護者が参加できるような学校公開日等の行事を開催する。

施策２　学校教育における福祉教育の推進

内容１：総合学習等によるボランティア活動体験や高齢者・障害者等との交流の機会を設定し、実践的な福祉教育を進めます。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	学校教育課	○	各小中学校で福祉実践教室を実施し、点字や車椅子などの体験を通して障害を持つ方々との交流の機会を実施した。助産師や保育園の先生から学ぶ機会を実施した。また、福祉施設へのボランティアなど様々な形で多くの児童生徒が参加した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	学校教育課	引き続き、総合学習等によるボランティア活動や交流の機会の設定を進める。

施策３　地域福祉活動の機会づくり

内容１：公民館等を地域福祉活動の拠点として活用する地区の取り組みを支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	地域協働課	○	各公民館に地域連携推進員を配置し、人材の発掘や地区の取組の支援をしている。その他、日進公民館を拠点に活動している日進みらいの会には引き続き敷地内の倉庫を貸与し、その活動にも関わり助言等を行っている。また、鷲塚公民館のわくわく鷲塚もりあげ隊と棚尾公民館の棚尾まちおこしの会の会議や活動にも事務局として参加し、活動を後押ししている。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	地域協働課	引き続き各団体を支援する。

基本方針１－３　地域組織活動の推進

施策１　町内会周知と加入促進

内容１：町内会についての周知を積極的に実施します。

内容２：町内会加入のメリットを伝えながら、加入を促進します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1 2	地域協働課	△	ホームページで町内会加入を勧めるページを公開しているほか、町内会の啓発記事を年１回、広報へきなんに掲載している。また、市民課窓口で転入者・転居者に対して町内会加入促進チラシを渡し加入を促している。 しかし、加入率はわずかだが減少傾向であるため、特に若い世代へのＰＲを強化するため異動の多い時期にＳＮＳでのＰＲを行い、平成３０年度より外国人の加入率向上のため市民課へポルトガル語の加入促進チラシを用意した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1 2	地域協働課	引き続き町内会に加入することによるメリットを周知していく。

施策２　町内会等地域活動の支援

内容１：市政に関するわかりやすい情報を提供し、町内会活動を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	地域協働課	○	毎月連絡委員幹事会を開催し、各種情報提供、意見交換を行い意思の疎通を図っている。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	地域協働課	引き続き連絡委員への情報提供、問い合わせ対応を積極的に行っていく。

基本目標２　世代間や地域での交流の機会づくり

基本方針２－１　地域での交流の機会づくり

施策１　公共施設等を活用した交流の機会づくり

内容１：公民館や学校等、公共施設を活用したイベントを行い、地域の子どもから高齢者までがふれあう機会づくりを進めます。

内容２：老人クラブのふれあい農園で園児と一緒に農作業をする等、子どもと高齢者が交流できる機会を作ります。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	生涯学習課	○	公民館まつり、文化講座等を各公民館において実施し、どなたでも気軽に参加できる様々なイベントを実施した。
2	こども課	○	幼稚園、保育園において、老人クラブの方と協働してふれあい農園で作物の栽培や収穫を体験したり、地域の敬老会に参加したり、園に招き伝承遊びをしたりする活動を実施した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	生涯学習課	今後も同様の事業を実施し、世代間でふれあう機会づくりを進める。
2	こども課	今後も老人クラブの方と協働してふれあい農園で作物の栽培や収穫を体験したり、地域の敬老会に参加したり、園に招いて伝承遊びをしたりする活動を継続し、地域の方とふれあいを深めていく。

施策２　交流できる居場所づくりの推進

内容１：地域住民の交流活動を促進するため、公民館等を活用した活動拠点の確保と提供を図ります。

内容２：地域の交流の場づくりを支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	生涯学習課	○	各公民館のホールや研修室等を貸室として提供し、休日や平日の夜間でも住民の交流活動ができるようにしている。
2	地域協働課	○	各公民館に地域連携推進員を配置し、地域住民との情報共有や活動拠点の提供を行っている。また、地域の交流の場づくりが進むよう、地域振興事業補助金や区民館等運営事業補助金、地域内連携まちづくり事業費補助金を交付し、資金面での支援も行っている。現在、日進地区では日進みらいの会が地域の方が交流できる場として月に１回、公民館でみらいカフェを開催している。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	生涯学習課	引き続き、各公民館を拠点として活動できるように提供する。
2	地域協働課	引き続き地域活動を支援していく。

基本目標３　地域福祉活動を支える人づくり

基本方針３－１　地域福祉を担う人材等の育成

施策１　ボランティア育成支援

内容１：ボランティア養成講座の充実やボランティアでの参加機会の環境づくりを行います。

内容２：新たなボランティア団体の立ち上げや育成を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1 2	地域協働課	○	碧南市市民活動センターでの市民活動・ボランティア活動に役立つ各種講座の開催や、市民公益活動活性化補助金の交付により市民活動の立ち上げや活動の活性化をスキル面、資金面両面で支援している。また、相談者と登録団体・人材バンク登録者のマッチングを行い、活動する機会を作っている。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1 2	地域協働課	引き続き講座の開催、補助金の交付、マッチングの実施を行い、活動の場づくり、スキル面、資金面での支援を続ける。

施策２　地域福祉リーダーの育成

内容１：地域福祉の推進役となるリーダーの育成を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	地域協働課	○	地域活動・市民活動の推進役となる人材を育成するため、まちづくりの担い手育成講座を実施した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	地域協働課	引き続き地域活動・市民活動の推進役を育成するための講座を実施していく。

基本目標４　多様化する福祉課題に対応する支援体制づくり

基本方針４－１　情報提供及び支援ネットワークの充実

施策１　情報提供の充実

内容１：広報や市ホームページ等の工夫や改善により、サービス情報を一層分かりやすく提供します。

内容２：サービス等の情報が行き届くよう、支援を必要とする人に直接関わる民生委員等への福祉情報の提供を充実します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1 2	福祉課	△	引き続き、ホームページの内容を業務ごとに整理し、分かりやすい表記にするよう心掛けている。また、地域自立支援協議会の作業部会で、支援を必要とする人にどのようにすればサービス情報が届くか検討しているが、有効な具体的な方策が見つかっていない。 ※へきなん障害者ハーモニープラン（施策目標４－（２））
1 2	高齢介護課	○	医療と介護ガイドマップや高齢者福祉サービス冊子を見直し、医療機関や介護事業所などを地域ごとの地図表記や、対象者分類ごとの表記にするなど、分かりやすい表記にするよう心掛けている。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策３－３（４））
1 2	地域包括支援センター	○	広報、市ホームページへの掲載に加えて、３か所の地域包括支援センターの案内チラシを作成した。また、地区民協へ継続的に参加し、「顔の見える関係」づくりを通じて担当ケースへの支援体制を充実することに取り組んだ。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策２－２（１）、（２））

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1 2	福祉課	民生委員に冊子「へきなんの福祉」の配布のみではなく、必要に応じて制度説明の機会を設けるよう努める。また、支援を必要とする人にどのようにすればサービス情報が届くか引き続き地域自立支援協議会の作業部会で検討を実施する。
1 2	高齢介護課	冊子やホームページなど、分かりやすい表記に努める。
1 2	地域包括支援センター	地域包括支援センターを身近な相談機関として認知していただけるよう、継続して周知に努める。

施策２　支援ネットワークの充実

内容１：相談事業の利用者に対し、的確かつ迅速に対応し、充実した支援をするため、各課等や社会福祉協議会等との連携を強化します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	福祉課	○	毎月、社会福祉協議会と相談支援等連絡会議を開催し、連携強化を図っている。 また、障害福祉サービスについて、高齢介護課や地域包括支援センターと連携し、適切なサービスを受けることができるよう連携している。 ※へきなん障害者ハーモニープラン（施策目標１－（１）） 〃地域包括ケア会議を開催し、地域包括支援センターや健康課との連携を図っている。医療と介護の連携推進事業としてＩＣＴの導入により、クラウド上で介護サービス利用者の医療、介護、健康等の情報が、支援者間で共有をすすめている。ＩＣＴ： Information and Communication Technology の略称。日本語訳は情報通信技術。 また、介護サービス機関連絡協議会とも定期的に会議を開催し高齢者の支援ネットワークの構築をすすめている。 新たに１２事業所と高齢者等の見守りに関する協定を締結し、見守り活動の普及及び啓発を行った。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策２－１（３）、２－２（３）、３－３（２））
	高齢介護課	○	
	地域包括支援センター	○	地域ケア会議については個別のケースについて個別地域ケア会議を開催し、関係者と課題解決の方策を検討した。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策２－２（２））

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	福祉課	引き続き、各課等や社会福祉協議会との連携強化に努める。
	高齢介護課	引き続き、関係機関との連携強化を図っていく。
	地域包括支援センター	引き続き、関係機関との連携強化を図っていく。

基本方針４－２　安心して子どもを生み育てられる環境づくり

施策１　子育て支援体制の充実

内容１：仕事と子育ての両立を支援するため、子育て支援事業の充実を図ります。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	こども課	○	各子育て支援センターのたよりやチラシを相互に置くなど、子育て支援に関わる事業周知の機会を増やし、利用の促進を図った。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	こども課	子育て支援事業について、対象や内容を検討し、利用しやすい事業の提供により、更なる利用の促進に努める。

施策２　ボランティア等による子どもの遊び場づくり

内容１：地域住民やボランティアが主体となって運営する取り組みを支援します。

内容２：子どもたちが外でのびのびと遊ぶことができるように、地域住民による自然体験学習の機会づくりを支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1 2	生涯学習課	○	青年ボランティアのヘキスポスタッフによる「プレイメイト事業」、子ども会「子どものつどい事業」において子どもの遊び場づくりをした。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1 2	生涯学習課	引き続き、ヘキスポ、子ども会等の事業を通じて子どもの遊び場づくりへの取組みを支援するとともに参加者が増えるよう新しいイベントを計画する。

施策３　子どもに関わる団体の情報集約とネットワークづくり

内容１：子育て支援センター等を通じて、子育てに関わる情報発信のネットワークづくりを進めます。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	こども課	○	保育園、幼稚園、児童センター、ららくるにしばたにて園庭開放や地域子育て支援センターのイベントやプログラムを通じ、地域における子育て世帯間の交流の場を提供している。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	こども課	引き続き、地域における子育て世帯間の交流の場を提供していく。

基本方針４－３　高齢者・障害者・生活困窮者の自立支援

施策１　福祉サービスの質の確保及び向上

内容１：サービス利用者のニーズを把握した上で、きめ細やかな福祉サービスの提供を促進します。

内容２：福祉サービス事業所への監査を実施し、サービスの低下を防止するとともにサービス向上に向けた方策を検討します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1 2	福祉課	○	サービス等利用計画を確認するとともに、個々の担当相談員と調整を行い、意見を参考に必要なサービスを提供している。また、福祉サービス等事業所へは今年度５箇所監査を実施し、指導を行った。 ※へきなん障害者ハーモニープラン（施策目標１－（２））
1 2	高齢介護課	○	要介護認定者が安心してサービスを受けることができるよう、サービス事業者への指導や相談員の派遣等を通じ、サービスの質の向上を図っている。 また、介護サービス事業の関係者で介護サービス機関連絡協議会を組織し、サービス事業、ケアマネジメントの質の向上に取り組んでいる。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策３－３（２））
1 2	地域包括支援センター	○	包括的支援事業において相談者のアセスメントを通じてニーズを把握・整理し適切な支援を行っている。 地域包括支援センター、市内介護支援事業所のケアマネジメント機能を向上のため地域包括支援センター主任介護支援専門員と市内主任介護支援専門員の連携に取り組んでいる。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策３－３（３））

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1 2	福祉課	引き続き、きめ細やかなサービス提供の促進及びサービスの低下防止するため、福祉サービス事業所と打ち合わせ会等を開催し、サービス向上に向けた方策を検討する。
1 2	高齢介護課	引き続き、サービス事業者への指導や相談員の派遣等を通じ、サービスの質の向上を図る。

1 2	地域包括支援センター	引き続き、相談者への個別支援に尽力する。また、介護支援専門員へのマネジメント支援に継続して取り組む。

施策２　介護者等の支援

内容１：介護保険法や障害者総合支援法を踏まえたサービスの内容や仕組み、手続の方法について引き続き周知を図ります。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	福祉課	○	窓口、ホームページ及びガイドブックにて周知を実施した。 ※へきなん障害者ハーモニープラン（施策目標４－（３））
	高齢介護課	○	医療機関と介護サービス事業所を掲載した医療と介護ガイドマップを作成し、窓口での相談時を中心に、配布している。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策３－３（４））
	地域包括支援センター	○	市が作成した介護保険パンフレットやセンター独自の制度パンフレットを準備し、窓口で相談時に制度などについてわかりやすい説明に取り組んでいる。 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策２－２）

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	福祉課	引き続き、周知を図るとともに制度改正の際の周知も迅速に行うよう努める。
	高齢介護課	引き続き、周知を図るよう努める。
	地域包括支援センター	引き続き、相談窓口での対応を充実するよう努める。

施策３　生活困窮者の自立支援

内容１：生活困窮者の相談に応じ、関係機関と連携し、必要な情報提供や対応、助言を行います。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	福祉課	△	生活困窮者自立支援法に基づき、社会福祉協議会が主たる窓口となり生活に困窮している方からの相談を受け付け、本人同意のうえで支援を実施している。 その際、本人の意向や現状に合わせた支援を行うために、福祉課（生活保護担当）、ハローワーク碧南を始めとした必要と考えられる機関との情報共有、支援調整会議を開催し、困窮状態からの早期脱却を目指している。 平成３０年４月から１２月までに、１０４件の新規相談を受け付けている。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	福祉課	今後も関係機関と連携をとりながら、適切な支援を実施する。

基本目標５　安心・安全を高める地域づくり

基本方針５－１　家庭・近所・地域での防災対策の充実

施策１　災害時の支援体制づくり

内容１：大規模災害に備えた避難所運営訓練や、資機材取扱い訓練等自主防災会と協力し、防災訓練を実施します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	防災課	○	新川地区において、市総合防災訓練を実施。防災関係機関の参加も含め約２，３００名が参加した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	防災課	旭地区において、市総合防災訓練を実施する。

施策２　災害ボランティアと自主防災会との連携

内容１：自主防災会の強化を図るとともに、各地域において大震災を想定した防災訓練を行う等、地域での防災対策を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	防災課	○	防災リーダー養成講座を西端地区及び大浜地区で開催した。各自主防災会においては、年１回以上の訓練及び年４回程度の可搬ポンプ取扱い訓練を実施した。訓練状況により市職員や防災ボランティアの指導を行っている。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	防災課	引き続き、防災リーダー養成講座を地区ごとに開催するとともに、各自主防災会の訓練を継続実施していただくよう依頼する。市職員及び防災ボランティアの協力体制は維持していく。

基本方針５－２　地域の見守り・防犯活動の推進

施策１　見守り活動の推進

内容１：地域の自主的な見守り活動を支援します。

内容２：小中学校等へ寄せられる不審者情報を電子メールにて周知し、保護者へ注意を促します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	地域協働課	△	各地区で自主的な見守り活動が行われており、活動資材として、ベスト・帽子等を配布した。課題として地区毎の自主的な活動に差があることが挙げられる。（スクールガードとしての見守りまで実施ができている学校ばかりではなく、毎日実施から月単位の実施と差がある状態）
2	学校教育課	○	不審者情報や緊急情報について電子メールやＦＡＸで各学校へ周知した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	地域協働課	引き続き、地域の自主的な見守り活動を支援する。
2	学校教育課	引き続き、必要に応じた対応を心がけていく。

施策２　地域ぐるみでの防犯対策の推進

内容１：犯罪の発生状況や特徴をホームページ等で周知するとともに、防犯教室を開催します。

内容２：青色回転灯を装着したパトロール車による市内巡回パトロール活動を実施するとともに、地域における防犯パトロールを支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1 2	地域協働課	○	犯罪の発生状況や特徴をホームページ等で周知している。また、公民館高齢者教室にて、愛知県警「のぞみ」チームを派遣し防犯教室の開催、青色回転灯を装着したパトロール車による市内巡回パトロール活動を委託実施し、地域における防犯パトロール支援として、防犯リーダー研修会を開催した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1 2	地域協働課	引き続き、犯罪の発生状況や特徴をホームページ等で周知するとともに、防犯教室を開催する。青色回転灯を装着したパトロール車による市内巡回パトロール活動を実施するとともに、地域における防犯パトロールを支援する。

基本方針５－３　権利擁護の充実

施策１　権利擁護の推進

内容１：権利擁護に関する制度の普及、浸透を図るため、成年後見支援センターを設立し、情報提供や啓発を行い、対象者の把握や利用促進に取り組みます。

(1) 今年度の実績

内容	関係課	評価	今年度の実績
1	福祉課	○	平成２８年度より成年後見支援事業を社会福祉協議会に委託し、関係団体への周知や啓発を行うとともに相談に応じている。 ※へきなん障害者ハーモニープラン（施策目標５－（１）） 高齢介護課 ○ 同上 ※碧南市高齢者ほっとプラン（基本施策２－２（６））

(2) 次年度の取り組み

内容	関係課	次年度の取り組み
1	福祉課	引き続き、周知を図るとともに制度改正の際の周知も迅速に行うよう努め、成年後見制度の利用促進を図る。
	高齢介護課	同上

【社会福祉協議会分】

基本目標１　福祉の意識を高める環境づくり

基本方針１－１　地域における支え合い意識の向上

施策１　地域福祉に関する市民意識の向上

内容１：高齢者や障害者、子育て家庭等に関する理解を深める講座を支援します。

内容２：地域活動やボランティアに関する講座を支援します。

内容３：地域での福祉の大切さをＰＲします。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	福祉教育、福祉実践教室	○	碧南市内の全ての小中学校、高校で福祉実践教室を開催した。
2	ボランティアセンター	○	夏休み中高生ボランティア体験教室を開催し、６７名が参加した。市民ふれあいフェスティバルにおいて、ボランティア連絡協議会と協働し、車いす体験、ガイドヘルプ体験、手話体験、点字体験、要約筆記体験ブースを展開、市民への啓発を行った。中高生ボランティア３８名が活動協力をし、その結果、来客者数は８１７名であった。
3	地域福祉推進会議	○	新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端の市内全地区で地域福祉推進会議などを開催し、地域課題の共有を通して地域での福祉の大切さのＰＲを図った。

表中評価欄の○は「良好な取り組み状況である。」、△は「取り組みは実施しているが、課題がある。」、×は「取り組みは未実施である。」

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	福祉教育、福祉実践教室	引き続き、高齢者や障害者、子育て家庭等に関する講座の開催を実施する。
2	ボランティアセンター	中高生ボランティア教室等、市民向けの講座を企画する。
3	地域福祉推進会議	引き続き、地域福祉推進会議などを開催し、地域での福祉の大切さをＰＲする。

施策２　声掛け運動の推進

内容１：市民の自主的なあいさつ運動等の取り組みを支援します。

内容２：高齢者の集える場づくりを推進します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	△	新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端の市内全地区の地域福祉推進会議などであいさつ運動や声掛けの大切さを共有しているが、具体的支援には至っていない。
2	ふれあいいきいきサロン	○	ふれあいいきいきサロンを継続実施した。
	地域福祉推進会議	○	地域福祉推進会議などで高齢者を含めた集える場などの意見を共有した。新川、中央、大浜、旭、西端の各地区で高齢者の集える場を開催した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて状況に応じた検討をする。
2	ふれあいいきいきサロン	引き続き、ふれあいいきいきサロンを実施し、高齢者が集える場を提供する。
	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて、状況に応じた検討や充実を図る。

基本方針１－２　福祉について学ぶ機会の創出

施策１　地域と学校の連携強化

内容１：交流の場をつくり、地域の異世代間のつながりをつくります。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	福祉教育、福祉実践教室	○	碧南市内の全ての小中学校、高校で福祉実践教室を開催した。
	ボランティアセンター	○	夏休み中高生ボランティア体験教室を羽久手、天道、築山、日進、鷲塚、荒子、西端、大浜、棚尾、新川の各保育園で開催した。 市民ふれあいフェスティバルにおいて、中高生（碧南工業高校、新川中学校、中央中学校、南中学校）のボランティアが協力した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	福祉教育、福祉実践教室 ボランティアセンター	引き続き事業を実施し、交流の場や地域の異世代間のつながりづくりをする。

施策２　学校教育における福祉教育の推進

内容１：福祉教育の体験学習を推進します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	福祉教育、福祉実践教室	○	碧南市内の全ての小中学校、高校で福祉実践教室を開催した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	福祉教育、福祉実践教室	引き続き、碧南市内の全ての小中学校、高校で福祉実践教室を開催し、福祉教育の推進を図る。

施策３　地域福祉活動の機会づくり

内容１：中学生や高校生を対象に夏休み等の期間を利用して、高齢者や障害者施設等への体験学習の機会を提供します。

内容２：ボランティア団体と連携して、地域の福祉活動を推進します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	ボランティアセンター	○	夏休み中高生ボランティア体験教室を開催し、羽久手、天道、築山、日進、鷲塚、荒子、西端、大浜、棚尾、新川の各保育園での保育園体験、普通救命講習（ＡＥＤ体験）、総合防災訓練での体験を実施した。 市民ふれあいフェスティバルにおいて、中高生（碧南工業高校、新川中学校、中央中学校、南中学校）のボランティアが協力した。
2	ボランティアセンター	○	市民ふれあいフェスティバルにおいて、ボランティア連絡協議会と協働し、車いす体験、ガイドヘルプ体験、手話体験、点字体験、要約筆記体験ブースを展開、市民への啓発を行った。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	ボランティアセンター	引き続き、夏休み中高生ボランティア体験教室を開催し、体験学習の機会をつくる。
2	ボランティアセンター	引き続き、ボランティア連絡協議会と協働し、市民へのボランティア活動の啓発を行う。

基本方針１－３　地域組織活動の推進

施策１　町内会周知と加入促進

内容１：地域福祉組織のネットワーク化を進め、町内会の充実を支援（促進）します。

（1）今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	△	新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端の市内全地区で地域福祉推進会議などを開催し、地域のネットワーク化を進めているが、町内会の充実までには至っていない。

（2）次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	引き続き、各地区の地域福祉推進会議などを通じて、町内会を含めた住民組織のネットワーク化を図る。

施策２　町内会等地域活動の支援

内容１：地域活動を支援するため、ボランティア団体等と町内会との連携を図ります。

（1）今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	△	各地区の地域福祉推進会議などで地域活動を行う団体と町内会の連携について検討しており、新川、中央、旭、西端の各地区で関係者の打合せを開催した。

（2）次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	引き続き、各地区の地域福祉推進会議などを通じて、ボランティア団体等と町内会との連携を図る。

基本目標２　世代間や地域での交流の機会づくり

基本方針２－１　地域での交流の機会づくり

施策１　公共施設等を活用した交流の機会づくり

内容１：地域で取り組まれている様々な行事と連携し、異世代が交流できるイベントを支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	児童センター	○	「たのしいなつのおもしろフェスティバル」（棚尾児童センター：参加者４３６名・ボランティア２８名）、「棚尾公民館まつり」（参加者３３６名）に参加し、交流のきっかけづくりを行った。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	児童センター	引き続き、各施設から地域へ交流の機会づくりをする。

施策２　交流できる居場所づくりの推進

内容１：地域の子育て相談や子育てサロンの活動、気軽に集える居場所づくり等を支援します。

内容２：幼稚園・保育園や小・中学校の行事、町内会行事等における子どもの交流を通じて、市民の交流を進めます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	子育て支援センター	○	・利用者の方の子育て相談を実施した。 ・市内全地区（７小学校区）で、未就園児対象の「○○っ子あつまれ」を開催した。（棚尾保育園：棚尾・大浜っ子１０回、日進っ子１０回。西端保育園：西端・新川っ子８回。年齢別の「あつまれ」３回。荒子保育園：鷲塚・中央っ子８回、年齢別の「あつまれ」３回。）「おじいちゃん・おばあちゃんと一緒」も各保育園支援センター1 回開催した。 ・子育てサークルの育成を行った（こころっくしんかわ）。 ・ベビーサロン月１回開催した（こころっくしんかわ）。
	基幹相談支援センター	○	精神障害者等の居場所「ころころ」を、福祉センターあいくるで毎週木曜日に開催した。
2	児童センター	○	公民館まつりなどに参加し、地域住民と交流づくりをした。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	子育て支援センター	引き続き、子育て支援センター等で利用者の方の子育て相談の実施と「○○っ子あつまれ」と年齢別の「あつまれ」を開催する。
	基幹相談支援センター	引き続き、精神障害者等の居場所「ころころ」を実施し、気軽に集える居場所づくりなどを支援する。
2	児童センター	引き続き、公民館まつりなどに参加し、地域住民の交流を進める。

基本目標３　地域福祉活動を支える人づくり

基本方針３－１　地域福祉を担う人材等の育成

施策１　ボランティア育成支援

内容１：ボランティア養成講座を充実させ、ボランティアに気軽に参加できる環境づくりに努めます。

内容２：ボランティア推進協議会等のボランティア組織の育成を支援します。

内容３：地域の新たなボランティア活動団体の立ち上げや育成を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	ボランティアセンター	○	災害ボランティア養成講座、夏休み中高生ボランティア体験教室を開催したほか、市民ふれあいフェスティバルへ中高生にボランティアとして参加する機会を設けた。
2	ボランティアセンター	○	市民ふれあいフェスティバルやボランティアのつどいを通じて、ボランティア団体への活動協力を行い、組織の育成支援を行った。
3	ボランティアセンター	○	市民活動センターと協働して、ボランティア希望者にボランティア団体などの情報提供をした。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	ボランティアセンター	引き続き、ボランティア養成講座の更なる充実、ボランティアに気軽に参加できる環境づくりを行う。
2	ボランティアセンター	引き続き、ボランティア組織の育成を支援する。
3	ボランティアセンター	引き続き、市民活動センターなどと連携し、育成支援を行う。

施策２　地域福祉リーダーの育成

内容１：先進的な取り組みの勉強会の支援を行います。

内容２：リーダー育成研修を行い、地域福祉の推進役となるリーダーの育成に努めます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	○	地域福祉推進会議やコアメンバー会議を通じて、今後の取組みについて支援を行った。
2	コミュニティソーシャルワーカー養成研修 生活支援コーディネーター養成研修	△	愛知県社会福祉協議会が主催するコミュニティソーシャルワーカー養成研修や愛知県が主催する生活支援コーディネーター養成研修を受講し、地域福祉の推進役となる人材育成を図った。
	地域福祉推進会議	△	各地区の地域福祉推進会議などを通じたリーダー育成が今後の課題ではあるが、新川、中央、大浜、旭、西端の各地区でコアメンバーによる話し合いの場を立ち上げ育成を図った。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて、先進的な取り組みの情報提供に努める。
2	コミュニティソーシャルワーカー養成研修 生活支援コーディネーター養成研修	引き続き、コミュニティソーシャルワーカー養成研修や生活支援コーディネーター養成研修などの受講による人材育成に努める。
	地域福祉推進会議	全地区でコアメンバーによる話し合いの場の立ち上げを目指す。今年度既に立ち上がっている地区は引き続き開催し、リーダー育成のための内容の充実に努める。

基本目標４　多様化する福祉課題に対応する支援体制づくり

基本方針４－１　情報提供及び支援ネットワークの充実

施策１　情報提供の充実

内容１：社協だよりや社協ホームページ等を活用し、市民がより情報を入手しやすいように提供します。

内容２：地域支援を通じて、各地域の身近な課題の把握に努め、地域問題の解決に向けた支援に役立ていきます。

（1）今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	社協ＰＲ事業	○	ホームページや年３回発行の社協だよりを活用し、福祉サービス事業所の情報提供を実施した。
2	地域福祉推進会議	○	新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端の市内全地区で地域福祉推進会議などを開催し、地域の課題把握と解決に向けた話合いを実施した。

（2）次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	社協ＰＲ事業	市民が必要とする情報をより入手しやすいよう、内容の充実に努める。
2	地域福祉推進会議	引き続き、各地区の地域福祉推進会議などを通じて、課題の把握や解決に向けて検討する。

施策２　支援ネットワークの充実

内容１：民生委員を始めとする身近な地域（福祉）関係者との支援ネットワークを作ります。

内容２：地域のソーシャルワーカーや包括支援センター 、障害者相談支援事業所等が連携し、身近で総合的な相談窓口の充実を図ります。

内容３：障害者相談支援事業所等の人材を育成し、相談機能の充実に努めます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	△	新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端の市内全地区で地域福祉推進会議などにて地域の関係者のネットワークづくりに努めたが、構築には至っていない。
2	地域包括支援センター	○	個別の支援を通じて、各相談支援機関と連携を図った。
	基幹相談支援センター	○	個別の支援を通じて、各相談支援機関と連携を図った。 碧南市地域自立支援協議会の各部会にて、内容に応じて関係機関と連携し、課題の共有や検討を実施した。
	生活困窮者自立支援	○	生活困窮者自立支援の相談において、地域包括支援センターや基幹相談支援センターと連携を図った。
3	基幹相談支援センター	○	碧南市地域自立支援協議会事業所部会にて人材育成のための意思決定支援に関する研修を３回開催し、延べ７２名が受講した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて、身近な地域の関係者のネットワークの構築及び拡大に努める。
2	地域包括支援センター 基幹相談支援センター 生活困窮者自立支援	引き続き、関係機関と連携や協働を図り、総合的な相談体制づくりに努める。
3	基幹相談支援センター	各分野の相談支援の充実につながるよう、フォローアップを行い人材育成に努める。

基本方針４－２　安心して子どもを生み育てられる環境づくり

施策１　子育て支援体制の充実

内容１：地域と連携し、地域の中で安心して子どもを育てられる環境づくりに取り組みます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	子育て支援センター	○	親子で触れ合える親子遊びなど楽しい遊びを実施した。 「所長さんとお話ししましょう」（ららくるにしばた：親子３組参加）を実施した。
	基幹相談支援センター	○	碧南市地域自立支援協議会こども部会にて、障害児などの課題を中心に各機関と連携を図り、安心して子どもを育てられる環境づくりにつながるよう検討した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	子育て支援センター	引き続き、地域の方との交流や未就園児の保護者向け講座、親子遊びを開催する。
	基幹相談支援センター	引き続き、碧南市地域自立支援協議会こども部会にて、地域の関係機関や事業所等などとのネットワークづくりを図りながら検討する。

施策２　ボランティア等による子どもの遊び場づくり

内容１：各地区の老人クラブやボランティアと連携を図り、各地域の小中学校や公民館等で行われている既存の行事も活用しながら、こどもまつりの充実に努めます。

内容２：子どもと高齢者との交流の場をつくり、多世代で遊びを通じてふれあう機会づくりを進めます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	児童センター	○	地域のボランティアやおやじの会と連携し、工作やゲームを実施した。東部児童センターで「こどもランド」を２日間開催した。１日目はボランティアによるマジック＆バルーンショーを行い、２日目は東中生１４名と教職員２名のボランティアの協力により、夏祭りを実施した。親子８６組、小中学生等も含めて２５２名が参加した。
2	児童センター	○	児童センターなどで活動するボランティアが行う行事（「将棋・お話会」を月１回開催、東部児童センターで「おもちゃ病院」（月２回開催）を通して、多世代が交流し触れ合うことができた。 ・棚尾児童センターで小学生対象の「お茶会」を開催し、小学生６名、ボランティア２名が参加した。 ・東部児童センターで、ボランティアの小学生対象の夏休み陶芸教室を２回連続講座で実施し、各回１５名、１４名が参加した。
	地域福祉推進会議	○	中央、大浜、棚尾、旭、西端の各地区では、多世代がふれあう機会につながる取り組みを実施した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	児童センター	引き続き、~~各~~公民館まつりなどで地域のボランティアと連携し、工作やゲームを行う。
2	児童センター	引き続き、児童センターなどで活動するボランティアが行う行事を通して、多世代交流の機会づくりを行う。
	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて、多世代での交流に関する検討や充実を図る。

施策３　子どもに関わる団体の情報集約とネットワークづくり

内容１：地域の子育てに関する情報を集約し、子育てに関わる情報発信を行うとともにネットワークづくりを進めます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	子育て支援センター	○	「幼稚園へ遊びに行こう」にて棚尾幼稚園見学を実施した（未就園児親子１０組参加）。「パパと消防署に行こう」の行事を碧南消防署東分署で署員の協力を得て、消火体験等を実施した。１９組３８名が参加した。
	児童センター	○	西端地区で毎月開催される教育懇話会にて、ららくるにしばたの所長が参加し、こどもについての情報を共有した。 ららくるにしばたで「未就園児親子クッキング」を開催（親子８組が参加）した。
	基幹相談支援センター	○	碧南市地域自立支援協議会こども部会にて、障害児通所支援サービスの情報を集約した「きっずサービスガイド」や「児童支援者のための支援マップ」を更新し、保護者や関係機関に配布した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	子育て支援センター 児童センター	引き続き、各事業を通じて、更なるネットワークづくりに努める。
	基幹相談支援センター	引き続き、関係機関や事業所とネットワークを活かしながら、障害児に関する情報の集約と発信を検討する。

基本方針４－３　高齢者・障害者・生活困窮者の自立支援

施策１　福祉サービスの質の確保及び向上

内容１：身近できめ細かな生活支援のニーズ把握に努め、必要なサービス・生活サポートの仕組みづくりを支援します。

内容２：福祉課題に応じた、在宅支援メニューの改善・開発を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	△	コアメンバーによる話し合いの場を新川、中央、大浜、旭、西端の各地区で立ち上げ、必要なサービス・生活サポートの仕組みづくりを検討した。
2	基幹相談支援センター	△	碧南市地域自立支援協議会の各部会で様々な課題に対する検討を行った。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	全地区でコアメンバーによる話し合いの場の立ち上げを目指す。今年度既に立ち上がっている地区は引き続き開催し、必要なサービスや生活サポートの仕組みづくりのための内容の充実に努める。
2	基幹相談支援センター	碧南市地域自立支援協議会の各部会を通じて課題に応じた検討をする。

施策２　介護者等の支援

内容１：介護者の交流会等、介護者支援の場を充実します。

内容２：介護者教室を開催し、介護に関する知識の習得及び介護者同士の交流を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1 2	地域包括支援センター	○	市開催のハートフルケアセミナーや認知症家族のつどいの参加を促した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1 2	地域包括支援センター	より効果的に介護者の交流を図ることができるよう検討する。

施策３　生活困窮者の自立支援

内容１：関係機関と連携し、生活に困っている方を把握する体制を整備します。

内容２：生活に困っている方の相談に応じ、その人の思いに沿って、自立に向けての支援を行います。

内容３：就労に向けて必要な支援を行います。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	生活困窮者自立支援	△	関係機関と連携しながら、対象者をより広く把握できるように努めた。
2	生活困窮者自立支援	○	個別に支援プランを作成し、相談者の状況に応じた支援を実施した。 人員を増やし、相談支援体制の強化を図った。
3	生活困窮者自立支援	○	ハローワークや障害者就労相談支援事業所などと連携して、就労相談を実施した。
	基幹相談支援センター	○	碧南市地域自立支援協議会就労支援部会にて、障害者雇用の理解促進のため、地元企業向けに障害者雇用企業見学会を開催する。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	生活困窮者自立支援	地域も含めた幅広いネットワーク体制を整備する。
2	生活困窮者自立支援	引き続き、生活に困っている方の相談に応じ、その人の思いに沿って、自立に向けての支援体制の強化に努める。
3	生活困窮者自立支援	引き続き、相談者の状況に応じた就労支援のため、関係機関との連携を深めていく。
	基幹相談支援センター	引き続き、碧南市地域自立支援協議会就労支援部会にて、就労に関する検討をする。

基本目標５　安心・安全を高める地域づくり

基本方針５－１　家庭・近所・地域での防災対策の充実

施策１　災害時の支援体制づくり

内容１：地域と連携し、災害等の非常時に備えた訓練を実施します。

内容２：避難行動要支援者の支援に備え、地域と常に連携ができる体制づくりをします。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	ボランティアセンター	○	碧南市総合防災訓練にて、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。
	基幹相談支援センター	○	碧南市地域自立支援協議会障害者災害時支援部会にて検討し、身体障害者福祉協会５名、みどり会８名、すまいる４名、ハートフルあおみ２名、手をつなぐ育成会２名、碧南高浜聴力障害者協議会２１名、ぷちま～る９名、親子の会カラフル２名、その他２名の合計５５名が避難訓練に参加した。
2	地域福祉推進会議	○	西端地区で地域での見守り検討会を開催し、避難行動要支援者についても意見交換をした。 棚尾地区自主防災訓練に地域の福祉事業所利用者の参加調整を図り、避難訓練に避難行動要支援者が参加した。 中央地区では、防災に関連し災害時に連携できる仕組みや体制についてコアメンバーで意見交換をした。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	ボランティアセンター	引き続き、碧南市総合防災訓練を活用し、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施する。
	基幹相談支援センター	引き続き、碧南市地域自立支援協議会障害者災害時支援部会にて、災害などの非常時に備えた訓練について検討する。
2	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて、市内全域において避難行動要支援者の支援につながるよう、地域との連携ができる体制づくりに努める。

施策２　災害ボランティアと自主防災会との連携

内容１：防災リーダー養成講座に自主防災会の方にも参加を呼びかけ、防災知識の普及・啓発に努めます。

内容２：防災ボランティア等を中心とした地域での自主的な防災活動を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	ボランティアセンター	○	鷲塚公民館にて防災講座「家族を守ろう～今私にできること～」を、大浜公民館にて防災講座「自分で防災～支援が届くまで」を開催した。参加延人数は、鷲塚公民館で３４名、大浜公民館で４７名が参加した。
2	ボランティアセンター	○	碧南防災ボランティア連絡会の定例会に協力し、情報共有を図った。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	ボランティアセンター	地域と連携し、地域に合わせた防災講座を市内２地区で開催し、市民の防災意識の向上に努める。
2	ボランティアセンター	引き続き、碧南防災ボランティア連絡会への活動協力を行う。

基本方針５－２　地域の見守り・防犯活動の推進

施策１　見守り活動の推進

内容１：民生委員やボランティア・市民活動団体、老人クラブ等との連携を図りながら、子どもや高齢者の見守り活動を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域福祉推進会議	△	新川、中央、大浜、旭、西端の各地区のコアメンバーによる話し合いにおいて、見守りに関する意見交換をした。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域福祉推進会議	各地区の地域福祉推進会議などを通じて、子どもや高齢者の具体的な見守り活動について検討する。

施策２　地域ぐるみでの防犯対策の推進

内容１：高齢者の悪質商法対策等、防犯に関する情報を提供していきます。

内容２：近所のつながりを強め、地域の防犯活動を支援します。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	地域包括支援センター ふれあいいきいきサロン	○	ふれあいいきいきサロンにて、高齢者の防犯の情報提供や警察官による防犯情報の提供を実施した。
2	地域福祉推進会議	△	新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端の市内全地区で地域福祉推進会議などを開催し、近所のつながりの大切さについて話し合いを行い、防犯に関するご意見もあったが、具体的な支援には至っていない。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	地域包括支援センター ふれあいいきいきサロン	引き続き、関係者との情報共有や高齢者などへの情報提供に努める。
2	地域福祉推進会議	引き続き、各地区の地域福祉推進会議などを通じて、近所のつながりと防犯につながるよう具体的な検討をする。

基本方針５－３　権利擁護の充実

施策１　権利擁護の推進

内容１：高齢者や障害者、子どもの様々な権利擁護に関する総合相談体制の充実を図り、その人らしい生活の実現に向けた支援を行います。

内容２：地域において虐待、成年後見制度等をテーマにした権利擁護に関する講習会を開催し、誰でも安心して暮らせる地域づくりを進めます。

(1) 今年度の実績

内容	関連する事業等	評価	今年度の実績（個別計画等にて実績数値がある場合は併せて記載）
1	碧南市成年後見支援センター 日常生活自立支援事業	○	顧問弁護士による出張相談会を年４回開催し、専門相談の機会を提供するとともに、高齢、障害、児童の各分野の相談支援機関との連携強化を行った。
	地域包括支援センター 基幹相談支援センター	○	地域包括支援センターや基幹相談支援センターでの相談により、虐待防止や財産保護などの権利擁護の推進を図った。
2	碧南市成年後見支援センター	○	市民向け講演会「家族信託と成年後見制度の上手な使い方」を開催し、制度及び成年後見支援センターの周知啓発活動を行った。
	基幹相談支援センター	○	碧南市地域自立支援協議会権利擁護部会にて障害福祉サービス事業所などを対象に虐待防止チェックリストを用いたアンケート調査を実施した。

(2) 次年度の取り組み

内容	関連する事業等	次年度の取り組み
1	碧南市成年後見支援センター 日常生活自立支援事業	引き続き、成年後見支援センターや日常生活自立支援事業を実施し、関係機関との連携による総合相談体制の充実に努める。また、出張相談会を市内各地で開催し、成年後見制度の利用促進及び、センターの周知啓発活動に努める。
	地域包括支援センター 基幹相談支援センター	地域包括支援センターや基幹相談支援センターでの総合相談を通じて、その人らしい生活の実現に向けた支援に努める。
2	碧南市成年後見支援センター	引き続き、勉強会などの啓発活動を実施し、権利擁護に関する周知に努める。
	基幹相談支援センター	引き続き、碧南市地域自立支援協議会権利擁護部会にて、権利擁護に関する検討をする。

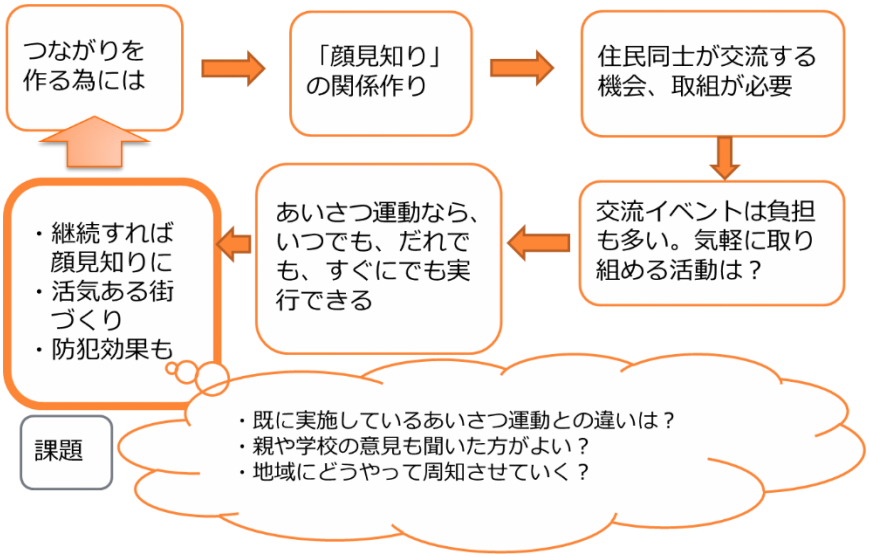
令和元年度　新川地区地域福祉推進会議ダイジェスト

新川地区では、住民同士の「つながり」を深めるため、「あいさつ運動（顔見知りの関係づくり）」についての取り組みを行ってきました。すでに行っている各団体のあいさつ運動の実施状況を確認したり、小学校で下校時の見守りについて意見交換をしたり、他地区の取り組み（鷲塚小スクールガード）について、お話を聞きに行くなどの活動をしました。それらの内容を一部ご紹介します。

あいさつ運動で住民同士の**「つながり」**を作る！

《協力者打合せ》

２か月に１回程、協力者に集まっていただき様々な意見交換をしました。



新川地区のあいさつ運動

・交通安全市民活動（ゼロの日街頭監視活動）
　月１回、７時 30 分～1 時間程度、各団体（連絡委員、小中幼 PTA、老人クラブ他）が実施。

・下校時の見守り（一部の老人クラブ）
　毎週木曜日等の 15 時頃、特定の場所で見守り活動。

新川小の打合せ

・校内では、あいさつ運動を実施。

・一斉下校も学期毎に実施。

・下校時刻がバラバラのため、下校の見守りができていない状況がある。

⇒鷲塚小スクールガードの取り組みについてお話を伺いに行きました。

《地域福祉推進会議》９月 12 日あいくるにて開催

意見等

・あいさつを継続し、住民同士のつながりができれば、笑顔が増え、地域が明るくなる。不審者もいなくなる。

・まずは、家庭内や家の近所であいさつ運動に取り組んでみたい。

・目立つ恰好をして「あいさつ（運動）見守りたい」で活動したらどうか？

⇒これらの意見を実現できるように、今後も取り組みを継続していきます。

中央地区　令和元年度地域福祉推進会議（協力者）　ダイジェスト

平成 30 年度の地域福祉推進会議から道場山地区では協力者が発足し、「地域のつながり作り」について定期的に話し合いの場を持つこととなりました。

その中で令和元年度は、天道保育園で園児、保護者、地域の人、協力者と一緒に「さつまいもづくり」を行いました。さつまいもの生育や収穫、収穫したさつまいもを一緒に食べることなどを通じて園児や保護者、地域の人、協力者とのつながりが少しずつ深まりました。今回はその取り組みの一部をご紹介します。

月 1 回、天道保育園で道場山地区の協力者で話し合いをしました。
会の名前も「道場山福祉の会」に決まりました。

園児、保護者、地域の人、協力者と一緒に土づくりから苗植え、収穫を行いました。
地域の中で子供を育てたいという思いから、みなさん一生懸命取り組みました。

芋の収穫は園児や協力者、区の役員、老人クラブの方が一緒に行いました。収穫した芋は、生活発表会後に園児、保護者と一緒に食べました。

道場山地区の取組みを継続しながら、少しでも協力者が増えたり、より多くの方が参加できるように検討していきます。また、他地区でも福祉課題について話し合う場ができるなど、中央地区の地域福祉は前進しているように感じます。

大浜地区　お気軽相談サロン企画
「紙ひこうきを飛ばそう」を開催しました！

平成 27 年に策定しました「碧南市地域福祉計画（へきなん地域福祉ハッピープラン）」に基づき、地域の福祉課題の確認や共有を行い、地域のネットワークづくりの検討や具体的な活動につなげていくことを目指しています。

今回、地域住民がお互いに支え合う関係づくりのため「お気軽相談サロン」を立ち上げ、紙ひこうきを作って飛ばすイベントを１２月１０日にかしの木保育園にて開催しました。園児との交流で笑顔いっぱいの時間を過ごしました。今回はその様子を一部ご紹介いたします。

かしの木保育園で開催している、異世代交流の場「コーヒー隊」。毎月第 2 木曜に園児が地域の高齢者を招いて交流を展開。

この日は特別に園児が参加者一人一人におもてなし。園児から下の名前を呼ばれておもてなしをされたら、誰でも笑顔になりますね。

おもてなしの後は、みなさんで思い思いの紙ひこうきを折り、飛ばしました。飛行機が飛び交う中で子どもたちのハツラツとした声が部屋中に響き、明るい雰囲気で参加者も自然と笑顔になりました。

持参した紙ひこうきを園児に渡す方や、紙てっぽうを作って披露する方も見え、子どもたちも興味津々。

最後はみんなで一斉に紙ひこうき飛ばしました。折った紙ひこうきが勢いよく部屋中を飛び回り、笑顔が絶えない時間を過ごすことができました。

ご参加いただいた皆様からのご意見

・久しぶりに保育園に来てとても懐かしかったです。子どもの声がとても良かったです。
・ご近所のお友達を誘ってよかったと思います。無心になりました。今後もっとお友達を誘いたいと思いました。
・とても元気な園児との楽しい交流から私の方までハツラツと元気になりました。孫世代との同居が少ないこの頃、とても良い企画だと思いました。
・参加者も協力者ももっとたくさんいるといいと思った。

今回開催した結果をもとに、今後どんな取り組みが出来るか、また「お互いが支えあう仕組み」を創るために、どんな人や場所が活用できるかについて検討していきたいと思います。大浜地区にある素敵な取り組みを確認しながら、皆さんと考えていきます。

令和元年度　棚尾地区地域福祉活動(地域福祉推進会議)ダイジェスト

棚尾地区では『棚尾まちおこしの会』の活動に地区担当者が参加しながら、地域福祉の推進に取り組んでいます。今回は、活動に参加した「にぎわいづくり部会」「自主防災部会」の取組について報告します。

にぎわいづくり部会

１１月３日「たなを村まつり」が開催され、お寺なども活用し、棚尾地区にある各団体が参加しました。毘沙門さん秋の例大祭とも重なり大勢の来客者でにぎわいました。

認知症高齢者声掛け訓練を実施し、来客者へPR活動を行いました。また、昨年に引き続きグループホームたなおさんが輪投げブースを担当し、入居者の方もスタッフとして参加、地域交流や多世代交流の機会になりました。

たなを村まつりにて認知症高齢者声掛け訓練

自主防災部会

毎月定例会を開催しています。８月２５日に棚尾地区自主防災訓練を実施し、昨年の訓練を踏まえ、地区で作成した「大丈夫ですパネル」を全戸配布しました。

訓練には、地区の住民など３８４名（うち、６０代以上は２２５名）が参加し、高齢者や障害者も参加しました。車いすを使用した一時退避場所から避難所への訓練も行いました。

今回の訓練では、避難後に避難所でどのように過ごすかなどが課題になり、避難所運営に関して考えるきっかけとなりました。毎月の定例会にて避難所運営に関する検討がスタートしています。

避難訓練の様子

棚尾地区では、「防災」「地域活性化」の話し合いをしていますが、福祉的な要素を含んだ意見が多く出ています。例えば「防災」では、重度障害者が家族と一緒に避難訓練に参加したことをきっかけに、要支援者、要配慮者が避難してきたときの対応も考える必要があるといったご意見や「地域活性化」では、たなを村まつりでの認知症高齢者声掛け訓練の開催を検討した際に「どうやって声をかけたらいいかといったことを、みんなが知るのは大切なことだよ。」といったご意見があり、寸劇や広報活動にもつながりました。

棚尾地区の自主的な地域活動の中で、今後も福祉的な要素を含んだ検討ができるようにしていきたいと思います。

令和元年度旭地区地域福祉推進会議
コアメンバー活動ダイジェスト

旭地区では平成３０年度から地域福祉推進会議のコアメンバーによる話し合いを定期的に開催し、福祉課題解決ができる地域づくりを目指しています。地域福祉推進会議にて抽出した意見（地域課題、解決策等）をもとに具体的な取組について検討した結果、まずは団体同士や世代間での“つながり”ができるように「多世代交流」について検討を進めています。その中で、地域の既存の活動を活かした多世代交流を実施したり、地域の団体同士のつながりによる新たな交流が始まりました。

＜小規模多機能ホームひまわり　＆
児童発達支援事業所ぷちま～る交流会＞

～団体同士のつながり～

地域福祉推進会議、コアメンバーでの話し合いなどを通じて、少しずつ地域の中で団体同士のつながりができてきています。
例えば・・・
ひまわり　＆　ぷちま～る
ぷちま～る　＆　昔のあそびあれこれ
日進みらいの会　＆　JA デイサービス

＜鷲塚地区＞

＜日進地区＞

～ラジオ体操で多世代交流じゃんけん～

夏休みのラジオ体操に「多世代交流」の取組み（大人と子どもでじゃんけん）を加え世代間での交流を図りました。

＜東正寺＞

～コアメンバー話し合い～

隔月で話し合いを開催しています。地域の事業所やお寺等の場所をお借りして、和やかな雰囲気で和気あいあいとした話し合いをしています。

令和元年度　西端地区地域福祉推進会議ダイジェスト

西端地区では、「地域での見守り」と「地域交流の場（cafe ちゃのま）」について、定期的な検討や活動をしています。

１　地域での見守り検討会

日時：毎月第一火曜の１９時から１時間半程度
場所：西端下区民館

最近の取組みやご意見

・町内会ごとの高齢化率などの実態はどうか。
・老人クラブの訪問活動も有効ではないか。
・運転免許返納など、移動の課題を抱える人がどの程度いるか。
・青パトの活動と健康づくりのウォーキングを組み合わせてはどうか。

２　地域交流の場「cafe ちゃのま」

日時：毎月第一火曜１０時から１２時まで
場所：西端下区民館

取り組み状況

平均１８名弱の方が来ています。
月替わりの企画を用意していますが、みなさんとお話をすることを楽しみに来る方が多くみえます。

cafe ちゃのまの様子

３　地域福祉推進会議

（西端地区全体での意見交換会）

日時：令和元年１０月８日（火）１９時から１時間半程度
場所：西端公民館

ご意見

・「cafe ちゃのま」について、月ごとに開催場所を変えると、出かけられる人もいるのではないか。また、乗り合いをすれば、遠くの人も顔を出せるのではないか。老人クラブの人に参加してもらったり、園児がお散歩などで「ちゃのま」に寄れるといいのではないか。
・「助けて」を言えない人には、声をかけ続けることで地域の意識が変わっていくこと、そして地域に出て来れる場所につながることが見守りにもつながることを確認しました。